

号外! ハカルワカル広場 だより 核兵器禁止条約批准50カ国達成!

来年1月22日核兵器禁止条約発効



上田紘治さん(左)と 西田照子さん(右)

この日を待たずに亡くなった多くの先輩被爆者・指導者に心から感謝し報告をすると共に、皆さんと喜びを共有したく思います。 上田紘治(八王子平和・原爆資料館共同代表 広島3歳児被爆)

被曝者の運動が「ノーモア、ヒロシマ」であり、「報復をしない、この悲惨を自分たちで最後にしたい、誰にも味あわせたくない」との思いが **ican** の若者たちの心を打ち、広がっていった。上田さんの心温まるよいお話が聞けました。 西田照子(ハカルワカル広場代表)

上村英明(恵泉女学園大学、市民外交センター)

核兵器禁止条約の発効で、核大国の変化には時間がかかるだろうが、国際世論の拠点が出来上がった。恥ずかしいのは日本政府。政府の市民化、民主化が待ったなしに不可欠だ。

山田真(八王子中央診療所医師)

五十ヶ国の批准は喜ばしい事ですが真っ先に批准すべき日本が署名しないことは恥ずかしく、情け無いことです。我々の頑張り、必要です。

アヤ・ドメニグ(映画「太陽が落ちた日」監督)

「どんなに聡明でも、どんなに立派であっても、広島で人々は哀れな虫けらのように殺された」と、原爆直後から長期にわたって苦しんだ被爆者の治療にあたった肥田舜太郎医師は語っている。核兵器禁止条約は人類の歴史における画期的出来事であり、真の希望の源泉である。

ボランティアのメッセージ

21世紀は、真の人道主義が広まる世紀としなければならぬ。そうであれば、一旦、世界に広がった核廃絶の流れは止められない。(鵜飼)

もしX国が核攻撃してきたら、、、そんな「もし」は不要にできる。50カ国がその意志を示した。世界の常識にしよう。(二宮)

長〜い道のり、やっと到達!被爆者ばかりでなく日本にとっても重要な一歩です。今度は日本を批准へと導こう!(槌谷)

「♪三度許すまじ原爆を」の思いが、形となって数となって具現化に大きな一歩をふみだしました。更に前に進む努力を私も!(金子)

来年から国際法で核兵器が禁止されることになりました。心からおめでとうございませう。これは世界中の人々の念願が集まった結果です。科学技術が、人間と自然に被害を及ぼすのではなく、命を守り、豊かにする方向で発展することを祈ります。(キム・イナ)

あらたな道筋を作ってくれた人々、批准した50カ国・地域に感謝。日本こそ批准を!(石井)

「核なき世界」へ大きな一歩を進めてくれた50カ国・地域と市民運動に未来を感じる。私たちが草の根でさらに先へ進めたい!(西田)

すごい、ヤッター!被爆者の怒りと叫びが通じた。日米同盟があっても条約に日本は参加できる。それが被爆国日本の役割だ。(佐々木)

「核は悪である」と国際社会が認めたことは、人類が進む道をはっきり示したものです。共に進んでいきましょう!(鈴木)